

令和7年6月定例教育委員会 議事録

1. 日 時 令和7年6月25日（水）13時30分から14時35分

2. 場 所 中央公民館 講義室

3. 出席委員 教 育 長 宮 本 隆
教育長職務代理 佐 藤 一 郎
教 育 委 員 本 城 慎 之 介
鈴木 淳 子
藍 原 尚 美

4. 事 務 局 こども教育課長
生涯学習課長
こども教育課課長補佐兼学校教育係長
こども教育課児童係長
こども教育課子育て支援係長
生涯学習課課長補佐兼社会教育係長
生涯学習課課長補佐兼文化振興係長
生涯学習課図書館長兼図書館係長

5. 傍 聴 人 0人

1. 開 会

＜こども教育課長＞

はい、それでは定刻となりましたので、ただいまより 6 月定例教育委員会を始めさせていただきます。

初めに宮本教育長より挨拶をお願いいたします。

2. 教育長あいさつ

＜宮本教育長＞

皆さんこんにちは。お忙しい中お集まりいただきありがとうございます。町として 6 月議会が終わりまして、また各課長の方からまた報告があると思いますけれども、その中で旧三笠ホテルの指定管理者が決定しまして、議会の同意を得たということで、旧三笠ホテルの指定管理者が日比谷花壇というところに決まりましたけれども、日比谷花壇は全国の中でですね、文化財等 89 の施設の指定管理をやっているということで、北は北海道、南は九州まで、私もうちょっと知ってるのは、例えば神戸の異人館のですね、風見鶏の館とか、ここら辺も全部あの日比谷花壇からやってらっしゃるということで、その花壇さんに対する期待感というのはかなり大きいもので、その指定管理だけじゃなくて町のそういった緑関係のそういったものについても普及できるんじゃないかっていう期待がありますので、よかったなと思いますけれども、オープンのイベントが 10 月 1 日に行いますけれども、余談ですけども、北信の須坂にあるんです、一番北にある大きな商業施設のイオンモールが 10 月 3 日に開店するってことでよかったなと、被らなくてっていう。全然報道とかが散っちゃいますのでね、ということで今日三笠の方に見学に行っていていただいて、ご覧いただければと思います。

それとあとは軽井沢オープンドアの設置に向けて、第 3 回の準備会が 7 月 14 日に開かれますけれども、それに向けて全ての保護者と小学校 4 年生以上の児童生徒に向けてアンケートをまずしたというところから、アンケートの名前は「私たちの学校」をつくるアンケートっていう題名をつけましてですね、ちょっとリード文にはこんなことが書いてあります。

軽井沢町では、あなたもまわりの人も、自分らしく学び合うことができ、自分

たちが望む学校を自分たちでつくっていける「私たちの学校」を目指していき
たいと考えています。そのために、あなたの思ってることや考えていることを
書いてください。というアンケートから始まっております。これを活用してで
すね、児童生徒は各学校でワークショップを行っていきますけれども、ちなみ
に中学校は今ですねその、午後やってるということでありまして、それとあと
不登校の関係者の皆さんはですね、今お手元にお配りしたような私達の学校を
作るワークショップというような題名で7月8日にですね、夜行います。複数
やっていきますけれども、後でまたご覧になると思いますが、委員さんの
皆さんご参加よろしく願いいたします。

<こども教育課長>

ありがとうございました。

それでは次第に従いまして3. 報告事項は教育長の方へ進行をお願いいたしま
す。

3. 報告事項

<宮本教育長>

はい。それでは(1) 教育委員会行事・事業報告をお願いします。

<こども教育課課長補佐兼学校教育係長>

はい。資料1 ページをお願いいたします。

教育委員会行事・事業報告になります。期間につきましては、令和7年5月
22日から令和7年6月25日まで。

5月22日、第2回軽井沢オープンドアスクール(仮称)設置準備会議、軽井沢
中学校。23日、軽井沢交通安全協会定期総会、軽井沢警察署。同じく23
日、町校長会、東部小学校。25日、ユナイテッド・ワールド・カレッジ・I
SAKジャパン卒業証書授与式、ISAK。26日、第1回ICT教育研究部
会、軽井沢中学校。28日、中部小学校運動会、中部小学校。30日、関東甲

信越静市町村教育委員会連合会総会及び研修会、ホクト文化ホール(長野県県民文化会館)。6月1日、西部小学校運動会、西部小学校。同じく1日、第53回軽井沢町消防団消防ポンプ操法大会、プリンスホテルスキー場 第一駐車場。2日、SC軽井沢クラブ2024-25シーズン報告会、軽井沢アイスパーク。5日、第1回軽井沢町議会定例会6月会議、役場。7日、東部小学校運動会、東部小学校。16日、第22回小諸新校再編実施計画懇話会、小諸市役所。19日、第1回軽井沢町議会定例会6月会議散会、役場。21日、長野県公民館報関係者研修会、中央公民館。22日、ユニバーサルスポーツ祭開会式、風越体育館。23日、旧三笠ホテル引渡式、役場。25日、町校長会、軽井沢高校。同じく25日、6月定例定例教育委員会、中央公民館。

行事事業報告については以上です。

<宮本教育長>

はい。ありがとう。

<こども教育課長>

はい。すいません。

それでは6月の19日までで議会、町の議会の6月会議が終わりましたので教育委員会の関係の部分をご報告させていただきます。

まずこども教育課におきましては、議案を一つ、条例ですが提出させていただいております。こちらの方はですね、軽井沢町家庭的保育事業等の設備および運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例案ということで可決になっております。

内容といたしましてはですね、家庭的保育事業等4種類ありまして、家庭で教育事業、小規模保育事業、あと居宅訪問型保育事業、事業所内保育事業というこちらの方の連携協力を行う施設を適切に確保することに関する緩和措置の見直しと同省令等内閣府令の基準に従って定める基準で緩和措置が取れるという条文が追加になりましたのでこちらの方を追加させていただいて、条例改正を行ったものになります。

なおですね、軽井沢町におきましては、小規模保育事業といたしまして6月の1日からキラここキッズ軽井沢というのが、認可になっております。こちらのキラここキッズ軽井沢ですが、場所はスーパーツルヤさんの近くに設けて設置をしております。定員はですね、0歳児が2名、1歳児は6名の計8名で、小規模保育事業として、運営を始めたところです。なお現在は、0歳児が2名、1歳児は7月に入り2名入る予定という形で伺っております。

なお、小規模事業保育なので連携施設としていたしまして、ポピンズナーサリースクール軽井沢風越と連携をしているということで報告を受けているところであります。

議案は1件になります。

続きましてこども教育課の補正予算の方ですが主なものを申し上げます。

中保育園受変電設備改修工事といたしまして2,200万円を計上させていただいております。こちらの方は債務負担を取りまして2ヶ年ということで、令和7年度が880万、令和8年度は1,320万ということで、こちらの方の改修工事を計上させていただきました。

こちらにつきましては、去年、一昨年と一番の主はですね冬季期間中に厨房の食洗機やスチームコンベクションを使うのと同時にですね、冷暖房機を使うと警報機が鳴っていたということで、ちょっと業者に依頼して、その警報機が鳴った部分はどういうことなのかという原因追及をいたしましたら、やはり今既存にあるキュービクルの方がですね、定額電流容量超過ということで、ちょっとそちらの方が賄いきれてないということが判明いたしましたので、こちらも早急に直すということで、2,200万円計上させていただいているところです。

もう1件ありまして、予算上で保育園の落雷対策設備設置工事ということで、こちらの方が1,200万円を計上させていただいております。

こちらの方ですが、昨年8月の落雷におきまして、中保育園に落雷がありまして、太陽光モニターや電話機、インターホンというのが全て故障しまして、そちらの方をその6年度は保険で適用しました。そこを修繕したのが260万円程度かかっているということで、今回その落雷対策といたしまして、やはりあの災害時において電話が使えないということはちょっとよくないという部分もありましたので、電話回線等が常に使えるような形の被雷対策としまして、

こちらの方の設置を中保育園だけではなく、4園の全てをやりまして1,200万円ということで、避雷器をつける設置工事をするということで、計上させてもらいまして、可決となっております。

続きまして一般質問になります。一般質問はですね、小林天馬議員から、質問がありました。こちらの方は子どもの発育と学習に与える電子機器の影響と対応についてということで、今、GIGAスクール構想1人1台の端末が整備されている中で、そちらの方の部分は、町としてはですね、教育効果や発達の影響も踏まえ、教科ごとの適否に応じた活用が必要と考えているが、どのような考えで今やってるのかということで、答弁といたしましては、当然ですねタブレット端末を活用して学習を取り入れているということと、タブレットだけではなく、教科ごとに適切な学びやグループワークの学び方に応じて適切に使用しており、学習体験を取り入れながらですね。学習のタブレット端末だけではなく、また紙の学習ではなく併用しながら学校としっかりと授業を進めているということを答弁しております。

またですね、視力や集中力読解力、睡眠習慣など、端末の過剰な使用による子どもへの影響が懸念されている中、町としてのリスクや課題をどう認識しているかということの質問がありました。

そちらの方はですね、当然デジタルツールを過剰に使用することは心身の発達過程にある子どもへの影響が懸念されることとして町としても、総合教育会議やICT教育研究部会をやっておりまして、こちらの方は、学校と教育委員会が連携しながら、どのような形で進められればいいのかということで、先生方にも活用方法や検証を定期的に実施して、児童生徒の学習の場として取り組んでいるところであります。

また家庭内ですね、各家庭内でのスマートフォンやタブレット等のメディアツール利用の制限に関してはですね、こちらの方タブレットの活用のしおり、また保護者にも正しい知識を身につけていただくために、情報セキュリティ教室、参観日に合わせてですね、こちらの方を保護者向けにもしっかりとやってありますのでそちらをしっかりと周知、今後も徹底してまいりたいということで回答しております。

またですね、こちらも天馬議員なんですが、学校給食の無償化を踏まえた質の向上と、地域食材の活用についてということで、こちらの方の質問は、今後、

物価高騰や米不足を背景に持続可能な給食体制の構築が求められる中、学校給食応援隊との連携や有機食材の導入、食育推進をどのように進めていくのかということで、こちらの方はですね、学校給食応援隊としっかりと今もですね継続的に会議や協議をしており、適正な価格や地場産品、食材の収穫状況、今後の動向も踏まえ、情報提供をもらいながらですね、地場産品食材を給食に提供できるよう見極めながら、強化連携を図っているということを回答いたしました。

またですね、令和5年度からシェフ給食におきまして、こちらにおいては事前に収穫予定の食材を提示して、できるだけ多くの地場産品や地域の有機米を使用しながら給食として提供しております。

また今年度からですけど、食育推進の観点により、地元のホテルから提案をいただきました味覚の授業というのを、まずはちょっと東部小学校から取り入れたいということで、ホテルの方にご協力いただきながら、食育に対する豊かな心を育ませるよう進めてまいります。ということで答弁をしております。

またですね長期欠席や学校外で学ぶ児童生徒に対しても柔軟かつ実効性のある給食支援が必要であるがどのように検討なのかということで、こちらの方はですね、去年度、6年度からですね私立と小中学校給食する食材費給付事業を開始しておりますので、そちらでですね、町内在住で、町外内外の私立と、小中学校に通学する児童生徒の食材費として給付する他に、町内の公立におきましても全欠食をした不登校やアレルギー等対応の児童生徒に対してしっかりと食材費を吸収して、保護者の負担軽減を図っているということで回答しております。こども教育課からは以上です。

<宮本教育長>

よろしいですか。

はいどうぞ。

<生涯学習課長>

続きまして生涯学習課関係です。まず、議案ですけども、先ほど教育長の挨拶

にもありましたけども議案第４８号として指定管理者の指定について提出させていただきました。内容につきましては６月２０日の信毎の記事にもありましたが、旧三笠ホテルの指定管理の関係になります。

この指定管理の方に応募者は３団体ありました。

それで本年の３月１９日に指定管理者の選定審議会を開きまして、審査の結果、教育長のおっしゃるとおり株式会社日比谷花壇が指定管理者に選定されたもので、議案を上程しまして議決されました。

指定管理の期間としましては本年の１０月１日から令和１３年３月３１日までの５年６ヶ月ということになっております。

それでリニューアルオープンが１０月１日なんですけども、そちらの方、皆様にご招待状をお出ししますので、そのときご参加できるようでしたら出席していただければと思います。それで、今日も内覧会やるんですけども、ご都合が悪いということであれば、明日も社会教育委員の皆さんの見学が午後ありますので、そちらにご出席いただくことも可能ですので、ご検討いただければというふうに思います。

それと報告第１５号でですね、専決処分を提出させていただきました。

内容につきましては同じく旧三笠ホテルの関係でですね、ホテルの防災・活用整備工事変更請負契約の締結です。

そちらの方は金額の変更はなくてですね、工事の内容のみで変更を行いまして、三笠ホテルの工事、全てこれで完了したことになりますので報告させていただきます。

補正関係ですけども、こちらも旧三笠ホテル関係です。指定管理者の議決によりまして、今年度の１０月から来年の３月までの指定管理料を３，８００万円追加させていただきました。それと令和８年度から１２年度までの５ヶ年の債務負担行為としまして、６，５００万円、１年間１，３００万円の５年分を計上しまして議決されました。これによりまして日比谷花壇と契約の方を進めていきたいというふうに思っております。

一般質問につきましては中沢議員の方からですね、最近の気候変動によりまして高温化してます。それで分館の公民館分館の使用者の皆さんが暑くて困ってるんじゃないとか、あと避難所に指定されているので、そちらの分館にエア

コンを設置したらどうかということなんで、町の見解を伺いたいということで、質問がありまして、町としましては区の申請により2分の1以内の設置補助をする方向で検討していきたいということで回答はさせていただいております。

生涯学習課からは以上となります。

<宮本教育長>

はい、ありがとうございました。

その他、とか何かいいですか。よろしいですか

<教育委員>

—承認—

<宮本教育長>

(2) 教育委員会の行事日程についてお願いします。

<こども教育課課長補佐兼学校教育係長>

はい。資料2ページをお願いいたします。

教育委員会行事予定について。期間につきましては令和7年6月26日から令和7年7月23日まで。

6月26日、社会教育委員第1回定例会、中央公民館。同じく26日、第2回ICT教育研究部会、軽井沢中学校。28日、全日本バレーボール大会小学生大会、軽井沢風越公園総合体育館。7月4日、長野県町村教育長会研修総会、山形村農業者トレーニングセンター。7日、通学路及び水難危険箇所パトロール開会式、中央公民館。同じく7日、市町村教育委員会と県教育委員会との懇談会、東信教育事務所。8日、博物館等施設運営協議会、中央公民館。14日、第3回軽井沢オープンドアスクール（仮称）設置準備会議、軽井沢発地市

庭。１７日、軽井沢高校学校評議員会、軽井沢高校。２２日、３市町共同事業理事者会議、御代田町。２３日、町校長会、西部小学校。同じく２３日、７月定例教育委員会、中央公民館。その他るるばるの関係につきましては、子育て支援係長より説明をさせていただきます。

<子育て支援係長>

お願いいたします。資料１、るるばる７月号をお願いいたします。７月の子育て支援センターの主な行事になります。

子育て講演会ですが７月２４日、火曜日、１０時３０分から１１時３０分となり、対象は未就学児となります。

絵本で子育て・わらべ遊びと題しまして、なるにや書店より高橋春美さんを派遣いただき、読み聞かせとふれあい遊びを兼ねた講演会となります。

相談関係につきましては、随時、日頃の困り事などを伺い、対応させていただいております。３ページ目になります。５月の子育て支援センターの利用者数は６７１人、相談件数は６９件となります。詳細につきましては別紙をご確認ください。以上となります。

<宮本教育長>

はい、ありがとうございました。

その他よろしいですか。

<教育委員>

—承認—

<宮本教育長>

はい。

その次に（３）各種行事への後援等についてお願いします。

＜生涯学習課長補佐兼社会教育係長＞

はい。それでは３ページと書いてある資料をお願いいたします。

各種行事への後援等について承認したものが９件ございますので、順に説明をさせていただきます。

１件目、ゴールドラッシュ剣道大会 i n 軽井沢、ゴールドラッシュ剣道大会実行委員会の主催で、７月５日、土曜日から６日、日曜日までの２日間、軽井沢町風越公園総合体育館で開催予定。

２件目、０さいから入れるメロディコマカロンコンサート えほんとおんがく「風船の島」、メロディコマカロンの主催で９月７日、日曜日、軽井沢大賀ホールで開催予定。

３件目、軽井沢大賀ホール２０２５ 秋のコンサート、公益財団法人軽井沢大賀ホールの主催、１０月１１日、土曜日と１８日、土曜日、軽井沢大賀ホールで開催予定。

続きまして４件目です。同じく大賀ホール２０２５ 冬のコンサートを公益財団法人軽井沢大賀ホールの主催で１２月２０日、土曜日、軽井沢大賀ホールで開催予定です。

５件目、第６４回長野県中学校総合体育大会冬季大会 アイスホッケー競技、主催は長野県中学校体育連盟、長野県教育委員会、長野県市町村教育委員会連絡協議会の共催でございます。１１月２３日、日曜日、風越公園アイスアリーナで開催予定です。

６件目、平和のための佐久戦争展、「平和のための信州・戦争展」佐久地区実行委員会の主催、８月１７日、１８日の日曜日、月曜日ですね、２日間で、エデュカル・トリア佐久教育会館で開催予定。

７件目、キッズケアサミット２０２５、一般財団法人Orange Kid's Care Lab. とほっちのロッヂの共催です。７月１９日、土曜日と２０日、日曜日、２日間で開催予定です。場所は学校法人風越学園と７２ゴルフ北コース前広場となります。

8 件目、軽井沢吹奏楽団 第 26 回定期演奏会、軽井沢吹奏楽団の主催で、9 月 13 日、土曜日、軽井沢大賀ホールで開催予定。

9 件目、軽井沢ショー祭 2025（第 26 回）となるそうです。軽井沢ショー祭実行委員会の主催で、8 月 1 日、金曜日、軽井沢ショー記念礼拝堂で開催予定でございます。

以上、以前にも後援の実績があるため、教育長の専決とした案件ですので、報告させていただきます。以上です。

<宮本教育長>

はい、ありがとうございました。

よろしいでしょうか？

<教育委員>

—承認—

<宮本教育長>

それでは続いて（４）第 77 回軽井沢夏期大学開催についてお願いします。

<生涯学習課長補佐兼社会教育係長>

はい。それでは資料の 2 をお願いします。令和 7 年度 第 77 回軽井沢夏期大学の開催についてでございます。例年開催しております軽井沢夏期大学ですが、本年度は昨年度と同様、前回と同様ですね、海と日本をテーマといたしまして、8 月 6 日から 8 日までの 3 日間開催予定です。

昨年まではですね、8 月の 2、3、4 日ということで固定で開催しておりましたが、その 2、3、4 日の時期はまだ授業をやっている大学があって先生の都合がつきにくいというようなこと、あるいは土日が絡みますと、こちらの事務局の手もなかなか厳しいというような理由もありまして、もうちょっと先送り

をして平日に開催しようということになりまして6、7、8日の水、木、金曜日で実施することになります。

会場は昨年までと同様に中央公民館の大講堂で実施いたします。

日程、議題については2ページ3ページの通りでございますが、輸出入の窓口となる港、それから国内の物流、内航海運の要所となる港についてのこと、それから海洋プラスチック、マイクロプラスチックの関係、ウナギの生態とか。

いろいろな6人の先生方の講義がございますので委員の皆様ぜひ興味がありましたらご参加をお願いしたいと思います。

それからちょっとご連絡ですけれども、世話人の先生が渡邊先生と上野先生というお二方ですとやっていらしたんですけれども、渡邊先生もご高齢になったということで、またしっかりとこの場でもお話をさせていただきますが、渡邊先生が降板をするということで、新しい刈谷先生という先生が入ってくる世話人として来年度からですね、来ていただくようなことが内々で決まっておりますので、ご報告いたします。またですね。渡邊先生、ご高齢になりました、ちょっと実はご自宅で転んでしまったというようなことで、昨日ですか、ご連絡がありまして、ちょっと当日来れるかどうかわからないというようなお話も昨日ちょっと来て、びっくりしてるところですけれども、世話人の先生につきましてはまた後日しっかりとした形でお伝えしたいと思います。

夏期大学については以上です。

<宮本教育長>

はい、ありがとうございました。

よろしいでしょうか？

<教育委員>

—承認—

<宮本教育長>

続いて（５）軽井沢町中央公民館、使用時間及び勤務時間の変更について、お願いします。

<生涯学習課長補佐兼社会教育係長>

資料３をお願いします。今の夏期大学に絡んでなんですが、夏期大学の３日間については、公民館を全館貸切という形にして運営をさせていただく関係上、準備を含めた８月の５日から８日までの使用時間の変更をさせていただきたいということで教育長の決裁をいただいたものでございます。

通常平日ですので、夜９時まで開館してと思うんですけども、全館貸切となって午後５時以降に他の団体が使用できないというような理由がありまして、５時１５分で閉館をするというようなことでございます。

ご承知いただきたいと思います。以上です。

<宮本教育長>

ありがとうございました。

よろしいでしょうかね。

<教育委員>

—承認—

<宮本教育長>

続きましての（６）区域外就学の件は非公開の場でお願ひしたいと思います。

それでは、４．協議事項に入ります。

（１）軽井沢町文化財保護審議会臨時委員会の委嘱についてお願いします。

４．協議事項

<生涯学習課長補佐兼文化振興係長>

それではですね資料の5をお願いします。こちらの軽井沢町文化財保護審議会の審議会臨時委員の委嘱についてになります。このことについて軽井沢町文化財保護条例第40条および41条の規定に基づき、文化財指定に向けた調査審議を実施するために、臨時委員の委嘱を行うものでございます。こちらの後ろの5ページにこちらの決まりごとが書いてありますけれど、こちらの組織のところの40条のところなんですけど、審査会は7名以内で組織するというふうにあるんですけど、その下のところで事項の調査審議をさせるため必要であるときは臨時委員を置くことができるということからですね、その下のところ、学識経験のある者のうちから、教育委員が任命する。ということで、諮らせていただきました。今回、理由とすればですね、こちら書いてありますとおり、茂沢の薬師堂の薬師如来の文化財指定に向けて、仏像の専門家による調査を実施するためになります。

どのような方を、今度は委嘱するかっていうことですね。こちらが4ページこの方の経歴を載せております。

竹下多美氏ですけどこちらの方はですね、神戸大学文学部卒業です。現在はですね、2011年4月より長野市の市立の博物館で研究員をされている方になります。専門が仏教美術を専攻されている方になります。今回のですね薬師如来の調査に最適ということで声をかけさせていただいております。

任期はですね、7月1日から調査審議の終了するまでという期間でお願いしたいと思います。ご審議のほどよろしく申し上げます。

<宮本教育長>

はい。よろしいでしょうか？

<教育委員>

ー承 認ー

<宮本教育長>

はい、ありがとうございます。ということで承認されたということでお願いします。

(2) 県教育委員会及び市町村教育委員会相互の任免及び人事等に関する了解事項の取り交わしについてお願いします。

<こども教育課課長補佐兼学校教育係長>

はい。資料6をお願いいたします。県教育委員会及び市町村教育委員会相互の任免及び人事等に関する了解事項の取り交わしについて、こちらの方が県教委から依頼が来たものでございます。

毎年こちらの方でご審議させていただいてるものでございます。

次のページをお願いいたします。本日こちらの方ご審議いただきまして、承認いただいた場合にはこちらの2ページのこちらの文章の折り返しをさせていただきたいというふうに考えております。

本日はご承認いただきました場合には本日付ということでこちらの方に日付を入れさせていただきまして折り返しの方させていただきたいというふうに考えております。

内容につきまして簡単に説明させていただきます。3ページをお願いいたします。

3ページ目以降こちらの内容についてであります。3ページ、了解事項になります。簡単に説明をさせていただきます。

教職員の任免、その他進退について、(1) から (3) までこちら校長、副校長、教頭の任免その他の審査についてというところになります。

こちら県教育委員会と市町村教育委員会とは十分連絡の上、内申案を経て、出て速やかに事務処理を行うものとなっております。

(4) につきましては、その他の教職員の任免その他の進退について。

(5) につきましては新規採用の職員の内申についてとなっております。

2. になります。令和8年度教職員人事異動の基本方針について

こちらにつきましては、県教育委員会と市町村教育委員会の意見を尊重して児童の基本方針を確立し、両者共有としてその実現をするものとする。と謳われているものでございます。

次の3番につきましては別紙覚書により徹底を行うとなっております。後ほど別紙の覚書の方も簡単に説明させていただきたいと思います。

4番は人事の仕組み等の検討について、こちらにつきましては関係機関の意見を聞きながら多角的に検討するというものでございます。

5番につきましては人事異動の見直しについては適宜見直しを行うというものでございます。

次の4ページをお願いいたします。4ページ、こちら先ほど説明をさせていただきました覚書になります。

大きい1番の(1)から(4)までについては、校長、副校長、教頭、教員についての承認の場合、承認を含む人事についての記載事項となっております。

(5)につきましては、新規採用についての、内申の内容となっております。

大きい2番につきましては連絡方法について記載されているものでございます。

次のページ5ページをお願いいたします。5ページの3、令和8年度の人事異動については、2月上旬を目途として異動原案の作成を完了する。

4 令和8年度の人事異動の最終決定は3月中旬とする。

毎年こちらの方、県教委の方で取り交わしをさせていただいているものでございます。本日こちらの方でご審議いただきまして、こちらをご承認いただいた場合には、先ほど2ページ目の住所の方で、取り交わしの方させていただきたいというふうに考えておりますのでよろしくご審議のほどをお願いいたします。

<宮本教育長>

はい、ありがとうございました。

よろしいですかね。

<教育委員>

—承認—

<宮本教育長>

認めていただいて、承認いただいたということです。

<宮本教育長>

続いて（３）は各種行事への後援等について４件あります。お願いします。

<生涯学習課長補佐兼文化振興係長>

それではですね、資料の７をお願いします。こちらですけれども、あそびの学校開催に伴う後援依頼についてということですね、こちらの事業なんですけれども、今回の事業を軽井沢町のもので教育委員会名義使用承認に係る取り扱い基準第３条の要件を満たしていないことから事業の後援を不承認としてよろしいでしょうか、というものになります。こちら説明させていただきますが、１番、これ申請者なんですけど、株式会社日本商事 軽井沢おもちゃ王国、北軽にある群馬県の北軽にあるおもちゃ王国になります。名称はあそびの学校。実施期間は１０月４日から５日、実施場所も軽井沢おもちゃ王国、こちら先ほど言ったように北軽になります。参加費は無料となっておりますけども後ろの方ですね、収支予算書を見るとですね、入園料ということがやっぱり記載されていることからですね、行事に関しては、無料かもしれないんですけど入園料はちょっとというものになっております。

こちら、あと７番なんですけど、不承認理由につきましては町内で実施される事業ではなく、また国、地方公共団体、その他教育委員会が主催する事業でないことから、今回の場合不承認とさせていただきました。

ちょっと後ろの方にですね２１ページなんですけど、この教育委員会の名義使用に係るですね取り扱い基準っていう資料をつけさせていただきまして、この２１ページ、第３条、こちらの方で今回の場合は合致していないからというようなことからですね不承認とさせていただきます。

以上、ご審議のほどよろしく申し上げます。

<宮本教育長>

はい。それ一つ一つお願いします。

現在の資料7の関係については申請があったけども不承認としたいという議案でありますけれどももう、一個意見よろしいでしょうか。

ちょっとご質問とか。

不承認でよろしいですかね。はい。

<教育委員>

一承認一

<宮本教育長>

はい。不承認ってことで承認されました。

続いてお願いします。

<生涯学習課長補佐兼社会教育係長>

はい。資料8をお願いいたします。令和7年の9月13日付で別添の通りご覧の通り名義申請がございました。

申請者は、長野県母親大会連絡会、実行委員長 岩間京子。事業名称は第68回長野県母親大会。主催者が第68回長野県母親大会の実行委員会です。

実施日は11月16日、日曜日、実施の場所については佐久平交流センター、参加費等はなしでございます。こちらにつきましては、今、資料7と同様に町内の開催ではないということですが営利目的としたもの、そうしたものではありません。

3ページをお願いいたします。事業の趣旨ですが、「生命を生み出す母親は、

生命を育て、生命を守ることをのぞみます」をスローガンにして、子どもたちに平和な社会と美しい自然を手渡したいと、多くの参加を呼びかけ、学習し、ひとりぼっちの母と悩みを語り、励ましあうため、というものが趣旨でございます。

4 ページをお願いいたします。こちら事業計画書なんですけれども、この3 番の後援のところを見ていただくと、長野県・長野県教育委員会の次にですね、佐久管内11 市町村の市町村名が連なっておりますが、これ多分長野県母親大会を各地区で持ち回りでやっているということで、今回佐久地区で開催ということで、佐久管内全部の市町村に後援を申請しているというようなことと推察いたします。

参加者数は750 名（オンライン参加を含む）ということになっております。

5 ページには会則、6 ページには開催する予定のチラシの半分が掲載しております。こちらについては町内の開催ではございませんが、主旨等を鑑みてこういうことをしたいということで、お諮りするものでございます。

よろしくご審議のほどお願いいたします。

<宮本教育長>

はい。資料8 についてご意見ありますか。よろしいですかね。

<教育委員>

—承認—

<宮本教育長>

承認ということで、はい。承認されました。

はい。続きまして資料9 をお願いします。

<こども教育課課長補佐兼学校教育係長>

はい。資料9をお願いいたします。令和7年6月19日付で名義使用申請があったものでございます。申請者につきましては、株式会社長野放送 代表取締役社長小山修司、名称につきましては、NBS絵画コンクール「あたらしい乗り物とわたしたちのまち」～リニア新時代に向けて～、実施期間につきましては、告知の開始が、7月の1日、募集期間が9月の1日から10月の31日、審査会が11月の予定、表彰式が年が変わりまして令和8年1月の予定。作品の展示が令和8年1月から3月を予定しているというところでございます。

主催につきましては、株式会社長野放送、実施場所につきましてはテレビ放送内、またオンラインなどとなっております。参加費につきましては、なしとなっております。

次のページ、2ページをお願いいたします。こちら長野放送の方から申請になった申請書になります。こちらの中ほど事業の趣旨について読み上げさせていただきます。絵画を通して、児童の情操教育や想像力・表現力の育成、公共交通への親しみを育むことを目的に長野県内小学生から絵画を募集し、優秀な作品を表彰するというものでございます。

参加予定者数につきましては1,000人程度を想定しており、対象者につきましては長野県在住の小学生ということになっております。

続きまして4ページから8ページまでは会社の定款となっております。9ページ10ページにつきましては、こちらの絵画コンクールの開催概要となっておりますので、のちほどご覧になっていただきたいと思います。

16ページ17ページにつきましてはこちらのメール資料の承認通知案をつけますのでさせていただきます。こちらの方につきましては、承認基準を満たしていることから今回後援として、承認をいただきたいというものでございます。

ご審議のほどよろしくをお願いいたします。

<宮本教育長>

はいありがとうございました。

資料9について何かご質問とかよろしいですか。

<教育委員>

—承認—

<宮本教育長>

はい。承認されたということで、ありがとうございました。

続いて資料10についてお願いします。

<こども教育課課長補佐兼学校教育係長>

はい。資料10をお願いいたします。こちら令和7年6月20日付で名義使用申請になったものでございます。

申請者につきましては、軽井沢プリンスホテルスキー場 支配人 酒井晃。

名称につきましては、軽井沢町小中学生対象カルプリの森アクティビティ体験で、実施期間につきましては7月26日の土曜日から7月27日の日曜日、主催につきましては軽井沢プリンスホテルスキー場、実施場所も同じ軽井沢プリンスホテルスキー場、参加費は無料となっております。次のページをお願いいたします。2ページ、こちらにつきましてはプリンスホテルスキー場の方から進めてまいりました申請書になります。こちらの中ほど事業の趣旨について読み上げさせていただきます。

地元軽井沢にあるアクティビティ体験を通じ、認知を深め、将来的な軽井沢のPRに繋げてもらいたいというものでございます。参加予定者数については約100人を予定しています。

次の3ページをお願いいたします。こちらの事業計画書になります。事業の内容につきましては先ほど説明させていただきました事業の趣旨と同様となっております。

事業の内容のところになります。軽井沢プリンスホテルスキー場で営業しているアクティビティ施設、ネイチャーパーク「カルプリの森」を無料体験していただきたいというものでございます。期間につきましては先ほど申し上げました2日間、対象施設につきましては、ジップラインアドベンチャーと、空旅リ

フトの2施設、こちらの方、無料で使わせていただけるというものでございます。ただし、ジップラインアドベンチャーにつきましては保険料といたしまして200円をいただきたいというふうになっています。対象者につきましては、小学校の高学年から中学生までとなっております。

その下3番につきましては、収支予算書となっております。収入額は0円、支出額は48,000円となっており、48,000円のマイナスとなっておりますが、収入の方は事業者の方の負担ということになるかと思えます。

その次のページ、4ページから8ページまでは、今回の事業の概要が記載されております。これもまたご覧いただければと思います。

9ページにつきましては、今回のチラシの案の方を付けさせていただいております。15ページにつきましては、こちらで実施の承認通知書の案となっております。こちらにつきましても、承認基準を満たしていると思われるので、こちら後援につきまして、承認の方よろしく願いいたします。

<宮本教育長>

はい。見ていただきました。ご意見をよろしいでしょうか。

はいどうぞ。

<教育委員>

すいません。確認です。この収入の欄でちょっと、アドベンチャーの保険料は保険会社が支払ってくれる0円、これ200円というのは取らない。

<こども教育課長>

直接会社にプリンスホテルに入らないんで、取って直接保険会社に払うんで、ここに入らないってことです。

直接、はい。体験の保険会社の方へ払うということで、プリンス方の収入には入らないぞっていう意味合い。会社を通さないで、保険会社に払ってもらってということです。

<教育委員>

大変ありがたい話し。支出の方の48,000円は、これは会社負担でやるというそういう意味合いでいいですね。

<こども教育課長>

はい。リフトも無料だそうです。付き添いの保護者は、多少取られます。

<教育委員>

4年以上の子どもさんが無料。

<こども教育課長>

そこに付き添って一緒にやりたいってことであれば保護者は少し、半額にはなるとは思いますけど、安くなる。安くしてお金をいただき、待つということらしいです。

<宮本教育長>

はい。今回よろしいでしょうか。

<教育委員>

—承認—

<宮本教育長>

はい。承認されたということで。

一応ちょっと補足しますけども、この9ページのチラシを見ていただくと、ジップラインっていうのが、実は3回毎日行うんですけど、10人っていう限

定の人数なので、これを申し込み順なんですね。電話で。ですからこのチラシをいつ親が見るかっていう時期でも差が出てしまうので、一応こちらの方としては各小学校・中学校で配布する日は、統一して配布する。

例のスポーツ祭の申し込みのブーイングが起きないようにっていう。はい。

同じようにちょっとそこら辺のところが心配だなと。

<教育委員>

10名ですか。

<宮本教育長>

10人なんで、見ていいじゃん！あっ！って申し込むとすぐに埋まっちゃうんじゃないかと思う。

<こども教育課長>

公平を期すために、同じ日に配るというふうにしたいと思います。

<教育委員>

チラシ配布すれば、結構ね。

<こども教育課長>

と思うんですけどね。7月ももう夏休みに入りますので、ちょうど、25日から休みますよね。

<宮本教育長>

それをプリンスは狙ってるんです。

はい。それでは（３）終わりましたので。

５．その他ということで、庁舎改築周辺整備事業について

５．その他

<生涯学習課長補佐兼社会教育係長>

はい。それでは毎回お知らせをしております。庁舎改築周辺整備事業の関係ですけれども、前回お示ししましたものブロックプランと呼ばれるこれ回収しちゃったので、もうこちらの手元にあるんですけど、このブロックプランを基にですね、公民館を利用している登録団体の皆様にこれをもって説明をさせていただきました。

期日が６月、今月の１０日、１１日の夜６時半から約２時間程度、２日間実施しまして、そんなに来ないかなと思ってたら、１０日の日は２３団体２６名、それから１１日の日は１５団体２３名、合計しますと３８団体で４９名の方にご参加いただいて、ワークショップを開催しました。

その資料１１についてはそこで出た意見を場所ごと、カテゴリごとに分けたものとなります。いちいち説明はしませんが、大講堂ですと例えば音響が欲しい、逆に音が響かないようにして欲しいとかですね。両方の意見があったり、天井高８ｍにしてくださいとか、できるのかなとかいう部分もあったりですね、いろんな意見がやっぱり出ました。我々の方としてはそのブロックプランを見て配置を、例えばトイレ位置とかですね、配置がわかったところでエレベーターの位置とか、動線はどうかとか、そういうことを主に聞いたかったんですが、やっぱり蓋を開けてみると、その他たくさんの意見がありました。多かったのはですね、自分たちの荷物をいちいち家に持って帰る。アンプとかですね、重いものとかそういったものを、例えば陶芸の方とかですという釉薬とか、そういうものを持って帰れないので、置いておける場所、貸ロッカーとか、そういうものが欲しいという意見。それからやはり利用料は今までタダで使えてたものが、お金を取るとは何事だというような意見は結構多くいただきましたけれども、町の教育委員会としては、タダはやりませんよということで言っております。ただ、何でもかんでもお金を取ることではなくてですね、公共の福祉に資するとか、子どもがいてとか、そういったものについては、減免、あるいは免除ということも考える中で基本的には、利用した方には

利用料をいただくというようなことで進めてまいりたいと考えております。

前回お話ししたんですけど、4月、5月、6月が第1フェーズといいまして、このブロックプランを確立している期間ということで、この6月でその期間は終了しますので、7月、来月の定例教育委員会の中ではこのブロックプランをもうちょっと細かくしたような、もうちょっと詳細な図面をお示しできるというふうに考えています。よろしく願いいたします。以上です。

<宮本教育長>

はい。何か。

よろしいですか。

<教育委員>

いいですか。

<宮本教育長>

どうぞ。

<教育委員>

今、補佐がお話しした通り、使用料の関係で、たまたま中軽井沢の区民会館について、運営も大変なので有料にしていこうかということで、検討したんですけども、こちらの公民館、新しいコミュニティセンターがどのぐらいなのかって、金額は。それから考えていこうかななんて思っ

<生涯学習課長補佐兼社会教育係長>

前から申し上げている通り、あんまり他の例えば発地市庭の会議室とか、図書館の多目的室とか、そことべらぼうな違いがあるようなことは絶対にしなく

て、そことすり合わせをして、同じ程度の料金で、利用者にしてみれば、同じ料金だったら近いところでやった方がいいよねっていうふうになるように仕向けていきたいと思います。

もう一つちょっと言い忘れちゃったんですけど、老人福祉センターが来年度で解体になります。今も結構ね、賑やかにやってますけど、ここを利用してる人たちが公民館ができるまではどうするんだというようなことも言われていて、それについては、こちらで利用できるものは利用してもらおうんですが、近場の公民館でということで、中軽区民会館あたりも使わせていただけるような機会があればぜひご協力お願いしたいなというのをちょっとこの場で言わせていただきます。すいません。

<教育委員>

うちの方も一応、当初2,000円という枠をやっ払いこうかなと思ってたけど、やっぱりいろんなところから2,000円っていうのが、中央公民館が無料でやってるのに2,000円は高いんじゃないかということで、そうすると1,000円ぐらいかということでやはり、でも有料となってくるとやっぱりなかなか使いづらいという。

<生涯学習課長補佐兼社会教育係長>

例えば講義室を3時間使った場合でも、数百円ですね。3時間というと大体の行事はね、できちゃうので、20人で使ってもらえば本当に1人数十円の負担なんですよ。実際には。事務の大変さを考えると取らない方が楽なぐらいかもしれない。維持管理費に比べたら微々たるものなんですけど、だけど取る！という方針でいきたいとは思っています。ただそんなに高くないです。

<教育委員>

うちの方で最終的にどういう形で持っていくかっていうことであれだけでも、一応料金体系は有料でやるけどけれども、いわゆる登録団体として申し込んでいただければその時点でそれじゃ中軽区民会館においては無料にしちゃうとい

う話も出てくる。今度新しい方がね、大体いくらとかそういうようなものが出てくればそれに並んだようなものを出していくと。

<生涯学習課長補佐兼社会教育係長>

そうですね利用料金についてもちょっと理事者からもいろいろ言われてるものですから、早急にどんな感じで、どういうふうに取りようかっていうのをちょっと決めていかなきゃいけないんですけど、もうちょっと時間ください。

<宮本教育長>

ありがとうございました。

で、あと他にはよろしいですか。

はい。

<教育委員>

—承認—

<こども教育課長>

すいません。先ほど教育長あいさつのところでも言ってもらいましたが、そちらの別紙の方を委員さんの机に置かせてもらってます。「私たちの学校」をつくるワークショップ実施計画ということでこちらの方、軽井沢オーブンドアスクールを進める中とあとは既存の学校づくりをどうしていけばいいかということの中も含めましてですね。7月の8日、火曜日、18時30分から中央公民館大構堂で、対象者におきましてはそちらの記載の通りになりますけど、学校に行きたいと思っていても行きづらかったり欠席が多かったりする児童・生徒その保護者、また発達障害の診断もしくは疑いがあり学校への行きにくさや過ごしづらさのある児童・生徒とその保護者、あとスクールサポーター、教育委員会のスクールサポーターと関わりのある児童生徒とその保護者を対象にですね、今回の tetoru で、本日、小学校と中学校に配信させていただいており

ます。

こちらにしまして、事務局側と、あとすいませんが、小・中学校の校長・教頭と、教育委員会の教育委員さんにもぜひご参加いただきながら、状況の方を見ていただければありがたいなということで、お時間が許す限り、すいませんがご参加いただければありがたいなということでお願いします。

以上です。

<教育委員>

—承認—

<宮本教育長>

はい。それではこちらの方が終わりましたので、お返しします。

<こども教育課長>

はい。それでは6月の定例教育委員会を閉じさせていただきます。

ありがとうございました。